

## 事業計画

### 1) 事務局 柴田、藤堂、根川、樋口 (900 万円)

会費 100 名 3000 円 30 万円

賛助会員、寄付会員 カード決済可能に (900 万円)

★ファンドレイジング:ミニチャリティー導入(50件⇒250万円) 南條氏に相談  
理事や会員などが自分の楽しみの会をするときにそれをミニチャリティーと冠をつけて、参加者一人から 500 円なり 1000 円を払ってもらい、エッジにドネーションしてもらおう。その際、ディスレクシアとエッジの活動についての啓発をチラシと話で 5 分でも 10 分でもしてもらおう。例えばハイキング、ライブ、茶話会、ゴルフなど。

★エッジとしてチャリティー:

4 月 25 日にソープ氏来日茶話会

8 月 8 日 柳家花緑氏とチャリティー寄席(杉並ロータリークラブ協賛予定)

10 月 チャリティーラン(?)

★ファンドレイジングの方針を確立、実施

★各種名簿整理、プロジェクト進行チェック 樋口

★ショップ売り上げ (予算は各事業に振り分け)

### 2) 啓発、広報 柴田

NL 広告主 2 件から 4 件に増やす(年間 8 万円) 柴田、藤堂

メルマガ(月 1 回発行+号外)、

ニュースレター(年 3 回発行)、

WEB ページ(年間 3 万ビュー+)

ブログ、ラジオ

SNS の活用:フェースブック、インスタグラム、ツイッター 藤堂亜美、鴨井

各種チラシ

1 月から 3 月 大学生のインターンを受け入れ、広報

### 3) ジョリーフォニックス 藤堂亜美

小学生 10 名、中学生 10 名 200 万円

英国から山下先生が帰国した時に 3 日間開催(国内では唯一山下先生から直に指導していただける機会)

### 4) LSA(学習支援員) 藤堂栄子、大政

養成講座 330 万円

2005 年以來の受講生全員にアンケート発送、学友会、アセスメント、MOOC などの力になる人をリクルートする

入門コース 100 名⇒300 名（教育委員会への働きかけ-港区、小金井市、鈴鹿市、練馬区など）、

本コース 東京 30 名、札幌(20 名)、大阪(10 名)、宮崎(20 名)

ピアサポートから引き合い(港区、品川区他)

内容を幼稚園、デイ、高校まで広げる

- 5) MOOC 英語 藤堂亜美、小林マヤ、  
勉強会(5 都市×10 万円=50 万円)、教科書販売(4000 円×100 冊=40 万円)
- 6) MOOC 日本語 上田恭子顧問  
180 万円(日本財団 2018 年度助成事業の継続) 勉強会(5 都市×10 万円=50 万円)、教科書販売(3000 円×100 冊=30 万円、有料視聴(20000 円×50 名)100 万円  
コンテンツを教員養成講座、教員免許更新講座に使用
- 7) DX 会 柴田、河野、竹之内氏(元キャノン就労担当、現在日赤コンサルタント)  
(助成金申請 500 万円) 2005 年から開催している老舗の当事者会。モニターや当事者の意見を伝える役割と当事者同士で知恵をシェアする会。  
-偶数月:アウトティング(参加費:基本無料)  
-奇数月:就労ワークショップ(竹之内氏にモデレーターを依頼済み) 助成金申請が必要
- 8) DX セミナー 担当理事:大庭亜紀、柴田(6 名×1000 円×10 回=6 万円)  
企業、行政、学校、支援者、保護者、本人に 2 時間程度で分かりやすくディスレクシアについてとその支援法についてのセミナー。様々なエッジの活動への導入の講座として役をなしている。  
スポンサーを探す?(ロータリー)
- 9) BEAM 文部科学省 委託事業 600 万円 担当理事:上田恭子顧問、中嶋、鴨井  
(2020 年度の教科書改定に合わせ追加ある可能性)
- 11) LSA, MOOC など事業化 西島、藤堂

その他:

★ミニチャリティー導入について

★アセスメントができる人材を育成する、アセスメントを相談業務に組み込む(赤い羽根助成事業申請中700万円)

★2021年、南青山に建設予定の港区子ども家庭支援センターにおける相談業務の一部を請け負う件

★APDF2020@岡山に向けて、発起人会、エッジが全体の事務局になる件(国際交流基金から1000万円の助成金の見通し)

★ネットワーク: UNESCO のコンサル(6月申請予定)、IDA (International Dyslexia Association) 加盟(済)